

愛のあかし幸せ願う



幸せを願い交換した宮田村の「永遠の鐘」を鳴らす参加者ら
(田原市伊良湖町の恋路ヶ浜で)

友好都市の田原市と長野県宮田村

男女16人が「鐘」交換で交流

友好都市提携を結ぶ田原市と長野県上伊那郡宮田村は23日、同市伊良湖町の恋路ヶ浜で、それぞれの地域に設置した幸せのモニュメント「鐘」の交換会を開いた。宮田村や同村商工会青年部が進める婚活事業の一環で、同村の女性と同市の男性計16人が、互いの幸せを願い、鐘を鳴らした。

認定され、この記念に「幸せの鐘」が設置された。

恋路ヶ浜は06年、全国で恋人の聖地プロジェクトを進めるNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）から、恋人たちのプロポーズにふさわしい場所として、伊良湖岬灯台とともに「恋人の聖地」に

このことをつけ、同村商工会青年部の有志たちが12年12月、村内の駒ヶ根高原に恋路ヶ浜の「幸せの鐘」と関連づける象徴として「永遠

の鐘」を設置した。同村では男女の出会いの場を作る動きが活発になっており、今回の鐘の交換をきっかけに、婚活交流を加速させたい構えだ。

この日は、同村から30歳代中心の女性8人と、同市の有志で会社員や自営業の男性8人が参加し、市内でイチゴ狩りや菜の花畑散策などをした後、恋路ヶ浜で鐘の交換を行い、同村の「永遠の鐘」を取り付けた。最後には「互いの縁が続くように」との願いを込め、伊良湖周辺で見つけた五つ葉のクローバーとバラの花びらのシャワーとともに鐘を鳴らし、幸せを誓いあった。

今後、両市村は、鐘の設置場所を「永遠の幸せを願う」名所として、PRしていく。（斉藤理）